

本書において下記のとおり、誤りがございました。

内容を訂正すると共に、皆様にご迷惑をお掛け致しましたことを、深くお詫び申し上げます。

恐れ入りますが、本正誤表をご確認の上、ご利用いただきますようお願い申し上げます。

なお、増刷の際は下記正誤を反映いたします。

書籍名: ファッションビジネス2級 新版ファッションビジネス能力検定2級 公式テキスト

ISBN: 978-4-931378-37-7

記載日	最新版発行日	版(校正がある版)	ページ	内容の補足	誤	正
2024年5月29日	2023年11月1日	第1版3刷	P206 1 日本のサイズ ①JIS衣料サイズ 2行目		日本工業規格	日本産業規格
2024年7月2日	2023年11月1日	第1版3刷	P206 1 日本のサイズ ①JIS衣料サイズ 15行目		サイズ表示には「体形区分表示」「範囲表示」「単数表示」の3通りがある。フィット性を求められるスーツやジャケット、コートのように、対応するバスト、ウエスト、ヒップの寸法と身長を表示を必要とする服種には「体形区分表示」が使用される。バスト寸法と身長を表示またはバスト寸法のみで表示できるドレスやブラウス、あるいはウエストとヒップの寸法、またはウエスト寸法だけで表示できるスカートやパンツの表示など、フィット性を求められない衣料に使用されている表示を「単数表示」と呼んでいる。またTシャツやフリーサイズに近いフィット性を必要としない服種ではS、M、L、LL、3Lといった「範囲表示」が一般的に使用されている。Mサイズはバスト寸法が79cm～89cm、Lサイズでは86cm～94cmといった着用可能な寸法の範囲が示されているのが「範囲表示」である。	サイズ表示には「体形区分表示」「範囲表示」「単数表示」の3通りがある。フィット性を求められるスーツやジャケット、コートのように、対応するバスト、ウエスト、ヒップの寸法と身長を表示を必要とする服種には「体形区分表示」が使用される。 必要な身体部分の寸法または記号を表示する方法で、フィット性の必要の有無やアイテムによって表示方法が異なる表示を「単数表示」と呼んでいる。 また、Tシャツやフリーサイズに近いフィット性を必要としない服種ではS、M、L、LL、3Lといった表示や、○cm～○cmと範囲で示す「範囲表示」が一般的に使用されている。
2024年5月29日	2023年11月1日	第1版3刷	P206 1 日本のサイズ ②JIS成人女子衣料の標準体型 5行目	9AR	「9AR」サイズの場合、	「9R」サイズの場合、
2024年5月29日	2023年11月1日	第1版3刷	P206 1 日本のサイズ ②JIS成人女子衣料の標準体型 7行目		「A」は	削除（トル）
2023年11月1日	2023年11月1日	第1版3刷	P206 1 日本のサイズ ③JIS衣料サイズ記号の意味とサイズピッチ 6行目～15行目		中央の英文字はバストとヒップのバランスを重視した体型を表現しており、A体型、Y体型、AB体型、B体型の4種類に分類されている。同じバスト寸法で体型が変わるとヒップ寸法が変化する。例えば9ARのヒップ寸法は91cmであるが、9YRのヒップ寸法は4cm小さく87cm、9ABRは4cm大きくて95cm、9BRは8cm大きい99cmとなり、同じバスト寸法では4cmのピッチでヒップ寸法が変化する。	該当箇所削除
2023年11月1日	2023年11月1日	第1版3刷	P207 1 日本のサイズ ③JIS衣料サイズ記号の意味とサイズピッチ 3行目	9AR	標準サイズ「9AR」は	標準サイズ「9R」は